令和４年度

戦略的情報通信研究開発推進事業

（国際標準獲得型（5G高度化））

―　提　案　書　作　成　要　領　―

|  |
| --- |
| 公募期間令和４年２月18日（金）～４月18日（月）（正午(日本標準時)必着） |

総務省

目　　　　次

[**１　提案に必要な書類** 2](#_Toc94723383)

[(１) 研究開発課題提案書（様式１） 2](#_Toc94723384)

[(２) 研究開発内容説明書（様式２） 2](#_Toc94723385)

[(３) 研究開発内容説明資料（様式３） 2](#_Toc94723386)

[(４) 研究開発予算計画書（様式４） 3](#_Toc94723387)

[(５) 研究開発体制説明書（様式５） 3](#_Toc94723388)

[(６) 研究開発実施者経歴説明書（様式６） 3](#_Toc94723389)

[(７) 研究活動に係る透明性確保に係る誓約書・研究活動に係る透明性確保に係る確認に関する報告書（様式７a、７b） 3](#_Toc94723390)

[(８) 既存研究設備等説明書（様式８） 3](#_Toc94723391)

[(９) 物品リース・レンタル計画書（様式９） 4](#_Toc94723392)

[(10) 物品購入計画書（様式10） 4](#_Toc94723393)

[(11)共同研究契約等内容説明書（様式11） 4](#_Toc94723394)

[(12)現在実施中の研究開発課題に対する不参画申請書（様式12） 4](#_Toc94723395)

[(13)その他 4](#_Toc94723396)

[**２　作成上の留意事項** 4](#_Toc94723397)

[研究開発課題提案書（様式１） 5](#_Toc94723398)

[研究開発内容説明書（様式２） 7](#_Toc94723399)

[研究開発体制説明書（様式５） 11](#_Toc94723400)

[研究開発実施者経歴説明書（様式６） 13](#_Toc94723401)

[研究活動に係る透明性確保に係る誓約書（様式7a） 15](#_Toc94723402)

[研究活動に係る透明性確保に係る確認に関する報告書（様式7b） 16](#_Toc94723403)

[既存研究設備等説明書（様式８） 17](#_Toc94723404)

[物品リース・レンタル計画書（様式９） 18](#_Toc94723405)

[物品購入計画書（様式10） 19](#_Toc94723406)

[共同研究契約等内容説明書（様式11） 20](#_Toc94723407)

[現在実施中の研究開発課題に対する不参画申請書（様式12） 21](#_Toc94723408)

本書は、戦略的情報通信研究開発推進事業（国際標準獲得型（5G高度化））に提案する場合に、日本の研究代表者（研究提案者）が総務省に提出する提案書等の作成方法について説明するものです。提出方法については、提案要領「８　提案の手続」をご確認ください。

# **１　提案に必要な書類**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 書　　類　　名 | 様　式 | ソースファイル |
| (１) 研究開発課題提案書 | 様式１ | Word等 |
| (２) 研究開発内容説明書 | 様式２ | Word等 |
| (３) 研究開発内容説明資料 | 様式３ | PowerPoint等 |
| (４) 研究開発予算計画書 | 様式４　※ | Excel等 |
| (５) 研究開発体制説明書 | 様式５ | Word等 |
| (６) 研究開発実施者経歴説明書 | 様式６　※ | Word等 |
| (７)研究活動に係る透明性確保に係る誓約書・研究活動に係る透明性確保に係る確認に関する報告書 | 様式７a、７b | Word等 |
| (８) 既存研究設備等説明書 | 様式８　※ | Word等 |
| (９) 物品リース・レンタル計画書 | 様式９　※ | Word等 |
| (10) 物品購入計画書 | 様式10　※ | Word等 |
| (11)共同研究契約内容説明書 | 様式11 | Word等 |
| (12)現在実施中の研究開発課題に対する不参画申請書 | 様式12 | Word等 |

※　外国に係る記述は不要

## (１) 研究開発課題提案書（様式１）

研究開発の概要、研究代表者（研究提案者）及び研究分担者（以下「研究開発実施者」といいます。）、外国側の研究者[[1]](#footnote-1)、研究に協力する者（以下「研究協力者」といいます。）、契約事務担当者、経理事務担当者の情報等、提案する研究開発課題の基本情報を記述する書類です。

## (２) 研究開発内容説明書（様式２）

実施する研究開発の内容を具体的に記述する書類です。なお、外国の政府機関などへの提案書がある場合には参考資料として添付してください。

## (３) 研究開発内容説明資料（様式３）

研究開発課題の概要を２枚にまとめて示す書類です。採択評価の際にヒアリングを行う場合は提案者からのヒアリング用の説明資料、また提案された研究開発課題が採択された場合、報道発表や外部への説明資料等に活用するため、日本語版に加えて英語版も作成してください。一般に公表して差し支えないように記述してください。

## (４) 研究開発予算計画書（様式４）

研究開発課題を実施するに当たり必要となる経費を具体的に積算する書類です。年度ごとに作成してください。作成に当たっては、「情報通信分野における研究開発委託契約経理処理解説（戦略的情報通信研究開発推進事業）」[[2]](#footnote-2)に基づいて研究費の積算を正しく行ってください。

## (５) 研究開発体制説明書（様式５）

研究開発課題及び成果展開のために活動等を実施する体制（各研究開発実施者の役割等）を示す書類です。

## (６) 研究開発実施者経歴説明書（様式６）

研究開発課題を実施する研究開発実施者の略歴や主な業績、エフォート率等を示す書類です。日本の研究開発実施者ごとに作成してください。なお、研究補助者（当該研究に直接従事するアルバイト、パート、派遣社員等のことをいいます。）、研究協力者及び外国側の研究者については、作成する必要はありません。

## (７) 研究活動に係る透明性確保に係る誓約書・研究活動に係る透明性確保に係る確認に関する報告書（様式７a、７b）

各研究開発実施者がそれぞれ、自身が関与する全ての研究活動に係る透明性確保のために必要な情報について、所属する研究機関に報告していることを様式7aにて誓約を行ってください。また、所属する研究開発実施者が関与する全ての研究活動に係る透明性確保のために必要な情報について確認を行った所属長等は、様式7bにて報告してください。なお、研究補助者、研究協力者及び外国側の研究者については、作成する必要はありません。

## (８) 既存研究設備等説明書（様式８）

研究開発課題を実施するに当たって、既に研究開発実施者の所属する研究機関で保有している設備や新たに自費調達する設備を活用する場合、当該設備に関する情報を示す書類です。

## (９) 物品リース・レンタル計画書（様式９）

研究開発課題を実施するに当たって、研究開発実施者の所属する研究機関で新たにリース・レンタルして整備する予定の物品を示す書類です。

## (10) 物品購入計画書（様式10）

研究開発課題を実施するに当たって、研究開発実施者の所属する研究機関で新たに購入して整備する予定の物品を示す書類です。

## (11)共同研究契約等内容説明書（様式11）

外国の研究機関と日本の研究機関（研究協力者がいる場合には、研究協力者の所属する研究機関を含む。）が共同で研究開発課題を実施するに当たって、両機関間で締結する又は締結しようとする契約の内容等を示す書類です。

## (12)現在実施中の研究開発課題に対する不参画申請書（様式12）

今回の公募において研究代表者として提案するため、令和４年度実施中、あるいは実施が確定している戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）の他の研究開発の研究分担者から外れることを誓約する書類です。提出に当たっては、当該研究開発課題の研究代表者の了解を必ず得てください。

なお、本件に該当しない場合には、提出する必要はありません。

## (13)その他

ワーク・ライフ・バランスを推進する企業として、各種認定等（えるぼし認定企業、プラチナえるぼし認定企業、くるみん企業、プラチナくるみん企業、ユースエール企業等）を受けている場合は各種認定通知書の写しを、女性活躍推進法第８条に基づく一般事業主行動計画を策定している場合は一般事業主行動計画策定届等（受領印の押印があるものに限る。）の写しを、それぞれPDF形式で提出してください。

# **２　作成上の留意事項**

○ 提案書は様式に従い、用紙サイズは日本工業規格A列４番で作成してください。

○ 様式中、青字や赤字は留意事項又は記載例です。提出の際は不要ですので削除してください。

○ 提案書に使用する日本語のフォント（題目除く）は、明朝体10.5ptを標準として作成してください。

○ 提出する提案書の各ページの下部中央に、様式１から様式11まで（必要に応じて様式12まで）通しでページを附してください。

○ 提案書に虚偽の記載があった場合には、採択された後であっても採択を取り消す場合があります。

[様式１]

［様式１］から［様式12］までのすべての様式において、青字や赤字は留意事項又は記載例です。

提出の際にはすべて必ず削除してください。

令和４年　　月　　日

所属研究機関　○○大学○○学部○○学科

役職名　教授

フリガナ

研究代表者氏名　○○　○○　　押印は不要

## 研究開発課題提案書（様式１）

１　研究開発課題名　　□□□□□□□□□□□□の研究開発

２　研究キーワード

提案課題に関連するキーワードを５つまで記載してください。なお、可能な限り、電子情報通信学会の「**専門分野分類表」（https://www.ieice.org/jpn/shiori/pdf/furoku\_f.pdf）の中から選んでください。**

３　研究期間　　令和○年度～令和○年度

４　研究開発経費（税込み・間接経費込み）　　　　　　　　千円

以下は、研究開発予算計画書（様式４）の研究開発経費（消費税込みの直接経費・間接経費）を転記してください。

（間接経費は直接経費の30％を上限にします。）

　　【参考】年度別研究委託費一覧

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 令和○年度 | 令和○年度 | 令和○年度 |
| 研究開発経費 | 千円 | 千円 | 千円 |

５　研究代表者（研究提案者）

氏名（フリガナ）、所属研究機関（部相当まで記載）、役職、本課題のエフォート（％）、所属研究機関が民間企業の場合は資本金（億円）、教育機関以外は公的・民間の区分、所属機関の業務概要、コンマで区切って簡潔に記載してください。

（例）総務 太郎（ソウム タロウ）， ○○大学○○学部○○学科，教授，45%, ICTの教育・研究

６　研究分担者

氏名（フリガナ）、所属研究機関（部相当まで記載）、役職、役職、本課題のエフォート（％）、所属研究機関が民間企業の場合は資本金（億円）、教育機関以外は公的・民間の区分、所属機関の業務概要、をコンマで区切って記載してください。

（例）霞ヶ関 花子（カスミガセキ ハナコ），(株)＊＊研究開発部, 主任，25%, 1億円，民間，ICT(光デバイス)の研究

※提案する研究開発に参加するすべての研究分担者を記載してください。

７　外国側の研究者

氏名（ローマ字）、所属研究機関（部相当まで記載、カタカナで読み方を追記してください。）、所在地、役職、所属研究機関が公的か民間かの区分、及び所属機関の事業概要を簡潔にコンマで区切って記載してください。

（例）Kasumi Gaseki (Mr.)，○○University，○○Department，U.S.A, New York，Professor、民間、ICT(光デバイス)の研究

８　研究協力者

研究代表者及び研究分担者以外に、研究開発課題の遂行に協力する者がいる場合、その氏名（フリガナ又はローマ字）、所属研究機関（部相当まで記載）、所在地、役職をコンマで区切って記載してください。

（例）情報 三郎（ジョウホウ サブロウ），○○研究所ネットワーク研究室（○○ケンキュウショ　ネットワーク ケンキュウシツ），神奈川県，室長

※提案する研究開発に参加するすべての研究協力者を記載してください。

９　研究開発の目的

**200字程度**で簡潔に記述してください。（外部への説明のために本内容を公表する場合があります。）

１０　研究開発の概要

**200字程度**で研究開発の全体目標・計画を簡潔に記載してください。（外部への説明のために本内容を公表する場合があります。）

１１　研究代表者の連絡先

本提案書に不明な点があった場合、総務省から問い合わせをすることがあります。研究代表者の連絡先（所属研究機関、役職、氏名、郵便番号、住所、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス）をコンマで区切って正確に記載してください。

１２　契約事務等担当者の連絡先

研究開発の実施にあたり、委託契約の調整を行います。研究開発実施者（研究代表者・各研究分担者）が所属するすべての機関の契約事務等担当者の連絡先（所属研究機関、役職、氏名、郵便番号、住所、電話番号、E-mailアドレス）をコンマ（,）で区切って記載してください。

※研究開発実施者は、契約事務等担当者を兼ねることはできません。

１３　経理事務等担当者の連絡先

研究開発の実施にあたり、予算執行の調整を行います。研究開発実施者（研究代表者・各研究分担者）が所属するすべての機関の経理担当者の連絡先（所属研究機関、役職、氏名、郵便番号、住所、電話番号、E-mailアドレス）をコンマ（,）で区切って記載してください。

※研究開発実施者は、経理事務等担当者を兼ねることはできません。

※契約事務等担当者と同一である場合でも、必ず記載してください。

[様式２]

本資料は15頁以内でまとめてください。ただし、理解を深めるために必要な場合は、写真・グラフ等、追加の補足資料として本資料とは別にA4判5頁まで認めます。

作成言語は原則日本語です。

|  |
| --- |
| 研究開発課題名： |

## 研究開発内容説明書（様式２）

１　研究開発目的

・本研究開発課題によって、ICT分野において日本及び外国に共通して解決が必要とされる、提案要領に記載の課題について記述してください。また、それをどこまで解決しようとしているのか、具体的に記載してください。

・研究開発成果の国際標準化や実用化を加速し、さらなるイノベーションの創出や我が国の国際競争力の強化、国民生活や社会経済の安全性・信頼性の向上等にどのように資するのかについて記述してください。

２　研究開発内容・目標

(1)研究開発内容・到達目標

・研究開発内容とそれぞれの具体的な技術課題等について記述してください。

・記載に当たっては、本研究開発が我が国の水準及び国際的水準それぞれにおいてどこに位置付けられるか、国内外の他の研究開発状況との比較を具体的に示しながら技術・方式の優位性を記述してください。

・技術課題毎に研究開発の到達目標（確立する技術等のアウトプット）について記述してください。

（例）

　　ア）××に関する研究開発

・本研究開発は、…

・××を実現するには、…

・技術的な前提として、…

・これにより、××技術を確立する。

　　イ）△△に関する研究開発

(2)情報通信分野における技術面・学術面への貢献

・どのような点で、既存技術を越える新規性、革新性、有効性、優位性があるのかについて記載してください。

３　研究開発の実施体制・実施計画

(1)研究開発体系・役割分担

・共同研究の実施体制と研究開発の役割分担を記載してください（樹形図を用いてわかりやすく記述してください）。

（例）

　　○○の研究開発(当該研究開発)

　　　　　　　××に関する研究開発　　　　××技術の研究開発（□□大学（日本））

実施内容：○○○　　　　　　　実施内容：○○○

・××の構築　　　　　　××技術の研究開発（○○研究所（日本））

・××の実証　　　　　　　実施内容：○○○

　　　　　　　△△に関する研究開発　　　　△△システムの開発（××社（○国））

実施内容：○○○

・△△の構築

・△△の実証

・　　　　　　　　　　　　　　　　△△の研究開発　　　　　△△要素技術の研究開発

・　　　　　　　　　　　　　　　　実施内容：○○○ 　　　（□□大学（日本））

・　　　　　　　　　　　　　　　　　　・△△の調査　　　　　実施内容：○○○

・　　　　　　　　　　　　　　　　　　・△△の研究　　　　△△要素技術の研究開発

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　（△△大学（○国））

実施内容：○○○

・外国の研究機関の役割及び研究開発経費の拠出元（自己資金、外国政府等）を明記してください。

・外国の政府機関などが支援する研究開発プログラムに提案・参加している場合は共同研究の実施体制・研究計画（課題の分担）などについて記述するとともに、参考資料として外国の政府機関などへの提案書を添付してください。外国の政府機関などへの提案と本提案との関連・役割分担について記述してください（上記樹形図にも反映させてください）。

・研究協力者がいる場合、研究協力者の役割を明記してください。また、本研究開発で使用する主要な研究設備を研究協力者の所属する機関が保有している又は調達する場合、その研究設備を明記してください。（なお、研究協力者の所属する機関で保有する研究設備の調達・維持等に係る経費は、一切計上できません。）

・提案する研究開発の実施に当たって、別の研究開発の進捗が必要であるなどの技術的な前提がある場合には、その研究開発間の関係についても記述して下さい。

・国立研究開発法人情報通信研究機構が構築・運用する新世代通信網テストベッド（JGN-X）や同機構の国際交流プログラムの利用計画があれば記述してください。

(2)研究実施計画

・目標とする「研究成果」を具体的にかつ可能な限り記載してください。また、目標達成に向けた具体的な連携体制とロードマップを記載するとともに、周辺分野の研究開発動向を踏まえ、その目標を設定した根拠について明確に記載してください。

　（例）：　令和○年度　○○技術において△△（数値）の性能を達成。

　　　　根拠：○○技術は、最終目標である××技術の創出に不可欠な技術であるため、既存の技術を基に◇◇の改良を加えることによって、令和○年度内に数値目標を達成することを目標に掲げる。

４　研究開発の成果・波及効果

(1)研究成果（実用化・国際標準の創出等）

・本研究開発により、成果の実用化や相手国・地域等への展開、国際標準の創出、我が国がイニシアティブ、リーダーシップを発揮できる科学技術コミュニティの構築等の見込みについて具体的取り組みや判断根拠を明示しつつ記述してください。

(2)論文・特許等の発表目標件数

・論文・特許等の定量的な数値目標について記載してください。0件の場合は“0”と記述してください。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 4年度 | 5年度 | 6年度 | 研究期間終了後 | 合　計 |
| 査読付き誌上発表論文数 | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） |
| 査読付き口頭発表論文数（印刷物を含む） | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） |
| その他の誌上発表数 | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） |
| 口頭発表数 | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） |
| 特許出願数 | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） |
| 特許取得数 | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） |
| 国際標準提案数 | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） |
| 国際標準獲得数 | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） |
| 受賞数 | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） |
| 報道発表数 | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） |
| 報道掲載数 | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） |

注１：研究開発期間の年度毎及び研究開発期間終了後の目標件数を記載。また、各々の件数は国内分と海外分の合計値を記入。（括弧）内は、その内海外分のみを再掲。

下部余白　20mm⇔

注２：「査読付き誌上発表論文数」には、定期的に刊行される論文誌や学会誌等、査読（peer-review（論文投稿先の学会等で選出された当該分野の専門家である査読員により、当該論文の採録又は入選等の可否が新規性、信頼性、論理性等の観点より判定されたもの））のある出版物に掲載された論文等（Nature、Science、IEEE Transactions、電子情報通信学会論文誌等および査読のある小論文、研究速報、レター等を含む）を計上して下さい。

注３：「査読付き口頭発表論文数（印刷物を含む）」には、学会の大会や研究会、国際会議等における口頭発表あるいはポスター発表のための査読のある資料集（電子媒体含む）に掲載された論文等（ICC、ECOC、OFCなど、Conference、Workshop、Symposium等でのproceedingsに掲載された論文形式のものなどとする。ただし、発表用のスライドなどは含まない。）を計上して下さい。なお、口頭発表あるいはポスター発表のための査読のない資料集に掲載された論文等（電子情報通信学会技術研究報告など）は、「口頭発表数」に分類して下さい。

注４：「その他の誌上発表数」には、専門誌、業界誌、機関誌等、査読のない出版物に掲載された記事等（査読の有無に関わらず企業、公的研究機関及び大学等における紀要論文や技報を含む）を計上して下さい。

注５：PCT国際出願については出願を行った時点で、海外分１件として記入。（何カ国への出願でも１件として計上）。また、国内段階に移行した時点で、移行した国数分を計上して下さい。

注６：同一の論文等は複数項目に計上しないで下さい。例えば、同一の論文等を「査読付き口頭発表論文数（印刷物を含む）」および「口頭発表数」のそれぞれに計上しないで下さい。ただし、学会の大会や研究会、国際会議等で口頭発表を行ったのち、当該学会より推奨を受ける等により、改めて査読が行われて論文等に掲載された場合は除く。

(3)関連分野への波及効果

・本研究開発に関連する分野への波及効果等を記述してください。

５　その他

(1)競争的資金により実施した研究開発（本研究開発課題関連の研究開発）

・過去5年以内に競争的資金で実施した研究開発課題（現在実施中の課題も含む。）のうち、本研究開発課題に関連するすべての課題について、

・当該課題の概要

・得られた成果（論文等の数のみならず、得られた事実や開発した装置の概要等も記述）

・本研究開発課題との関連性（当該課題による成果を本研究開発課題へどのように受け継いでいるか、など）または相違点について、簡潔に記述してください。

(2)共同研究契約等

・本研究開発に関連した分野において、外国又は我が国の他の企業、組合、公益法人、独立行政法人、大学等と共同研究又は研究協力等の契約をしている場合には、その内容を説明して下さい。また、将来そのような契約又は関係を結ぶ予定があれば記入して下さい。）

(3)その他

・上記の他、ＰＲすべき点等があれば、記入して下さい。

[様式５]

|  |
| --- |
| 研究開発課題名： |

## 研究開発体制説明書（様式５）

１　研究開発の実施体制・実施計画

(1)研究開発体系・役割分担

・共同研究の実施体制と研究開発の役割分担を記載してください（樹形図を用いてわかりやすく記述してください）。

（例）

○○の研究開発(当該研究開発)

××に関する研究開発　　　　××技術の研究開発（□□大学（日本））

実施内容：○○○　　　　　　　実施内容：○○○

・××の構築　　　　　　××技術の研究開発（○○研究所（日本））

・××の実証　　　　　　　実施内容：○○○

△△に関する研究開発　　　　△△システムの開発（××社（○国））

実施内容：○○○

・△△の構築

・△△の実証

・　　　　　　　　　　　　　　　　△△の研究開発　　　　　△△要素技術の研究開発

・　　　　　　　　　　　　　　　　実施内容：○○○ 　　　（□□大学（日本））

・　　　　　　　　　　　　　　　　　　・△△の調査　　　　　実施内容：○○○

・　　　　　　　　　　　　　　　　　　・△△の研究　　　　△△要素技術の研究開発

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　（△△大学（○国））

実施内容：○○○

・外国の研究機関の役割及び研究開発経費の拠出元（自己資金、外国政府等）を明記してください。

・外国の政府機関などが支援する研究開発プログラムに提案・参加している場合は共同研究の実施体制・研究計画（課題の分担）などについて記述するとともに、参考資料として外国の政府機関などへの提案書を添付してください。外国の政府機関などへの提案と本提案との関連・役割分担について記述してください（上記樹形図にも反映させてください）。

・研究協力者がいる場合、研究協力者の役割を明記してください。また、本研究開発で使用する主要な研究設備を研究協力者の所属する機関が保有している又は調達する場合、その研究設備を明記してください。（なお、研究協力者の所属する機関で保有する研究設備の調達・維持等に係る経費は、一切計上できません。）

・提案する研究開発の実施に当たって、別の研究開発の進捗が必要であるなどの技術的な前提がある場合には、その研究開発間の関係についても記述してください。

・国立研究開発法人情報通信研究機構が構築・運用する新世代通信網テストベッド（JGN-X）や同機構の国際交流プログラムの利用計画があれば記述してください。

(2)研究実施計画（予算計画）

・研究計画（主要研究設備のリース・レンタルの計画、購入計画等網羅的に）を立て、費用対効果についてできる限り定量的かつ具体的に記載してください。

２　研究開発の分担体制及び主要研究設備

・本研究開発を実施するための体制や設備を記入してください。研究協力者及び外国側の体制や設備については、記載する必要はありません。

・研究代表者、研究分担者、研究補助者の人件費（全部又は一部）を様式４に計上しない場合、人件費負担額（万円）を明記すること。

・既存設備や様式４に記載しない自費などで調達する研究設備（以下「自費調達設備」という。）については、様式７に記載する内容に従い、担当機関名と購入金額を明記すること。なお、様式4に計上する研究設備は、以下「購入設備」といいます。

・各機関の負担額合計と全体総計を明記すること。

・研究代表者、研究分担者のいずれも所属しない機関の研究補助者や研究設備は含まないこと。

（記入例）

研究代表者：総務　太郎（××大学大学院工学研究科教授）

①○○に関する研究

担当：総務　太郎（××大学大学院工学研究科教授） 100万

霞ヶ関　花子（株式会社＊＊研究開発部主任） 120万

研究補助者（××大学○○名）

主な研究機器：○○○○（リース）

○○○○（購入設備）

○○○○（自費調達設備） 株式会社＊＊ 310万

○○○○（既存設備） 株式会社＊＊ 20万

②××に関する研究

担当：通信　一郎（＋＋株式会社企画部部長）

虎ノ門　次郎（××大学大学院工学研究科助手）

研究補助者（××大学○○名） 130万

主な研究機器：○××○（リース）

○××○（購入設備）

○××○（既存設備） ＋＋株式会社 100万

 負担額 ××大学 230万

 株式会社＊＊ 450万

 ＋＋株式会社 100万

 総計 780万

３　その他

・研究開発体制を説明する上で参考となる情報があれば記入してください。

[様式６]

|  |
| --- |
| 研究開発課題名： |

## 研究開発実施者経歴説明書（様式６）

１　　氏名（フリガナ） ○○　○○　（　　　　）

２　　生年月日（年齢） 西暦 年 月 日生（2022年４月１日現在　　歳）

３　　性別 男・女

４　　所属研究機関 ○○大学大学院

５　　所属部署名 ○○学研究科　○○専攻　○○室

６　　所属研究機関コード \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*　（e-Radで用いる10桁数字）

７　　所属研究機関所在地 〒　-　　○○県○○市○○　○丁目○番○号

８　　役職名 ○○

９　　電話番号 　　　　（　　）

１０　E-mail \*\*\*@\*\*\*\*.\*\*.\*\*

１１　上記所属研究機関以外に兼職・兼業する機関及び役職（法人である場合はその旨を明記）

20\*\*年４月 ○○法人　○○

１２　学位 工学博士　（○○大学、○○専攻、○○年取得）

１３　研究者番号 \*\*\*\*\*\*\*\*　（e-Radで用いる８桁数字）

１４　エフォート

**※年間の総仕事時間に対する当該研究に従事する時間の割合（%）として計算してください。**

**※エフォートの合計が100％となるように記入してください。**

**※以下の記述においては、e-Radに登録した情報との整合性を必ずとってください。**

①戦略的情報通信研究開発推進事業（国際標準獲得型）　本研究開発課題名 ○○％

②他の競争的研究資金制度による研究開発 ○○％

**支援を受けているすべての競争的資金について、配分機関名、制度名・区分、研究開発課題名、研究期間、助成金額、本研究との関連及び相違点、各制度のエフォート(％)を明記してください。また、現在応募しようとしている競争的資金制度についても記載してください。その場合、「研究期間」の部分を「申請中」又は「申請予定」と記載してください。支援を受けているにもかかわらず記載がない等、事実と異なる申告があった場合、採択後であっても研究実施を取り消しとする場合があります。**

③他の外部資金による研究開発 ○○％

**1,000万円以上の資金の助成のものについて、制度名、研究開発課題名、研究期間、助成金額（期間中の総額）、本研究との関連及び相違点、各制度のエフォート(％)を明記してください。また、現在応募しようとしている外部資金についても記載してください。その場合、「研究期間」の部分を「申請中」又は「申請予定」と記載してください。助成を受けているにもかかわらず記載がない等、事実と異なる申告があった場合、採択後であっても研究実施を取り消しとする場合があります。**

④経常的研究開発　　研究内容を記載してください。 ○○％

⑤経常業務　　　　　業務内容を記載してください。 ○○％

１５　研究者個人に関する研究キーワード

**専門分野のキーワードを5つまで記載してください。なお、可能な限り、電子情報通信学会の「専門分野分類表※1」のから選んでください。（※1　https://www.ieice.org/jpn/shiori/pdf/furoku\_f.pdf）**

１６　研究者経歴

（記載例）

\*\*\*\*年 \*\*月\*\*日　○○大学○○学部○○学科卒業

\*\*\*\*年 \*\*月\*\*日　○○大学大学院○○学研究科○○専攻修士課程修了

\*\*\*\*年 \*\*月\*\*日　○○大学大学院○○学研究科○○専攻博士課程修了

\*\*\*\*年 \*\*月\*\*日　博士号取得（○○学博士○○専攻）

\*\*\*\*年 \*\*月\*\*日　○○○○株式会社　○○研究所

　　　　　　　　　○○に関する研究開発に従事

\*\*\*\*年 \*\*月\*\*日　○○○○株式会社　○○研究所　○○研究室　主任研究員

\*\*\*\*年 \*\*月\*\*日　○○大学大学院○○学研究科　教授

１７　研究開発課題に関連する主要な発表論文・著書・特許等

**主なものを10件程度記入してください。**

**論文の場合、著者名、“タイトル”、雑誌名、巻、号、ページ、発表年（西暦）を記載してください。著書、特許も左記に準ずる。**

* **秘密保持契約等により本様式に記載することが困難な情報については、提案書類提出後に各研究機関の研究責任者を通じ、総務省に報告してください。**

［様式７a］

|  |
| --- |
| 研究開発課題： |

## 研究活動に係る透明性確保に係る誓約書

|  |
| --- |
| 令和　　年　　月　　日総務省国際戦略局通信規格課長　殿本委託研究に応募するに当たり、下記のとおり、自身が関与する全ての研究活動に係る透明性確保のために必要な情報について、所属する研究機関に報告していることを誓約します。記１　他府省を含む他の競争的研究費その他の研究費の応募・受入状況（制度名、研究課題、実施期間、予算額、エフォート等）２　現在の全ての所属機関・役職（兼業や、外国の人材プログラムの参加、雇用契約のない名誉教授等を含む。）３　寄付金等や資金以外の施設・設備等の支援（無償で研究施設・設備・機器等の物品の提供や役務提供を受ける場合を含む。）４　その他以上研究者氏名：　　　　　　　　 |

（注１）各研究者が内容を確認の上、それぞれ誓約を行うこと。

［様式７b］

|  |
| --- |
| 研究開発課題： |

## 研究活動に係る透明性確保に係る確認に関する報告書

|  |
| --- |
| 令和　　年　　月　　日総務省国際戦略局通信規格課長　殿本委託研究に応募するに当たり、所属する研究者が関与する全ての研究活動に係る透明性確保のために必要な情報[[3]](#footnote-3)について、下記のとおり確認していることを報告します。記１　確認している情報の概要○○○２　確認の対象者研究責任者　○○研究者　　　○○研究者　　　○○以上所属長等氏名：　　　　　　　　 |

（注１）確認を行った所属長等が作成すること。

（注２）研究機関ごとに作成すること。

 [様式８]

|  |
| --- |
| 研究開発課題名： |

## 既存研究設備等説明書（様式８）

本研究開発で使用する主要な既存研究設備や自費調達設備の名称、所有機関、メーカ、形式・番号、仕様・性能、当該研究における使用方法・頻度（回程度/年・日程度/年など）、購入（予定）時期・購入金額（税込み）について記載してください。

研究開発体制説明書（様式５）で記述した「研究計画」と対比できるように記載してください。

外国側で使用する予定の設備については、記載する必要はありません。

（記入例）

（サブテーマがない場合）

名称：○○研究装置

所有機関：○○大学

メーカ：

型式・番号：

仕様・性能：

使用方法：

購入時期・購入金額（税込み）：

（サブテーマがある場合）

【○○に関する研究に使用する機器】

名称：○○研究装置

所有機関：○○大学

メーカ：

型式・番号：

仕様・性能：

使用方法：

購入時期・購入金額（税込み）：

名称：○○研究装置

所有機関：○○大学

メーカ：

型式・番号：

仕様・性能：

使用方法：

購入時期・購入金額（税込み）：

【××に関する研究に使用する機器】

名称：○○研究装置

所有機関：○○大学

メーカ：

型式・番号：

仕様・性能：

使用方法：

購入時期・購入金額（税込み）：

[様式９]

|  |
| --- |
| 研究開発課題名： |

## 物品リース・レンタル計画書（様式９）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 設備名・メーカ・型番 | 性能・仕様・期間 | 金　額 | 使用目的 |
| ○○研究設備（メーカ、型番などもわかる範囲で記載ください。） | 性能：仕様：期間：（○ヶ月間などと記載） | 単価○○円（１ヶ月） |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

◎注意事項

・研究開発に必要な機器設備の調達方法の決定に当たっては、購入とリース・レンタルで調達経費を比較し、原則、安価な方法を採用していただくことになります。**本研究開発以外での利用はできません。**

・リース・レンタルする設備の単価は、リース又はレンタル会社にて調査願います。

・本様式の「使用目的」については、研究開発体制説明書（様式５）で記述した「研究計画」と対比できるように記載してください。

・外国側で整備する予定の物品については、記載する必要はありません。

[様式10]

|  |
| --- |
| 研究開発課題名： |

## 物品購入計画書（様式10）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 設備名・メーカ・型番 | 性能・仕様購入年度 | 金　額 | 使用目的 | リース又はレンタルが不可の理由 |
| ○○研究設備（メーカ、型番などもわかる範囲で記載ください。） | 性能：仕様：購入年度： | 単価　○○円数量　　□個金額\*\*,\*\*\*円 |  | 【理由】○○によりリース（レンタル）困難とのリース（レンタル）会社からの回答があったため。 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

◎注意事項

・研究開発に必要な機器設備の調達方法の決定に当たっては、購入とリース・レンタルで調達経費を比較し、原則、安価な方法を採用していただくことになります。本事業の研究費は「委託費」であるため、購入した物品は研究期間終了後に総務省所有の物品となります。**本研究開発以外での利用はできません。**

・リース･レンタルと調達経費を比較せずに購入する場合は、リース又はレンタル不可の理由を必ず記載してください。なお、採択後の課題実施における経理処理手続では、リース又はレンタル不可の証明書を準備していただくことになります。

・本様式の「使用目的」については、研究開発体制説明書（様式５）で記述した「研究計画」と対比できるように記載してください。

・外国側で整備する予定の物品については、記載する必要はありません。

[様式11]

|  |
| --- |
| 研究開発課題名： |

## 共同研究契約等内容説明書（様式11）

外国の研究機関と日本の研究機関（研究協力者がいる場合には、研究協力者の所属する機関を含む。）間で締結する又は締結しようとするすべての共同研究契約等の概要（研究機関名、知的財産権の取扱、守秘義務、研究成果の公表など）について、日本語で記載してください。

なお、研究協力者を含める場合は、研究協力者に総務省と研究開発実施者間で締結する契約等の内容を遵守することを規定する必要があります。

別に、本研究開発に関連した分野において、外国又は我が国の他の企業、組合、公益法人、独立行政法人、大学等と共同研究又は研究協力等の契約をしている場合には、その内容を説明してください。また、将来そのような契約又は関係を結ぶ予定があれば、記入してください。

[様式12]

令和４年　　月　　日

所属研究機関　○○大学　○○学部　○○学科

役職名　　　　教授

研究代表者氏名　○○　○○　　押印は不要

## 現在実施中の研究開発課題に対する不参画申請書（様式12）

私は、今般の公募に対して、下記１に掲げる研究開発課題の研究代表者として提案するため、下記２に掲げるすべての研究開発課題の研究代表者の了解のもと、戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）において令和４年度実施予定である下記２に掲げるすべての研究開発課題の研究分担者から外れ、当該研究開発課題には参画しないことを誓約します。

また、今般の公募における審査の結果、下記１に掲げる研究開発課題が採択されなかった場合にも、下記２に掲げるすべての研究開発課題の研究分担者から外れることを約束します。

記

１　戦略的情報通信研究開発推進事業(国際標準獲得型（5G高度化）)に新規に提案する研究開発課題名

「　　　　　　」　　　研究開発課題名を記入してください。

２　戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）において令和４年度実施予定である研究開発課題

※研究分担者として登録されているすべての課題を記載してください。

・課題名：「□□□□□の研究開発」（受付番号：000000000）

・研究代表者氏名：○○　○○（所属：○○○大学○○学科）

・実施事業・プログラム名：□□□□□事業　△△△△△△型研究開発

・研究期間：令和○○年度～令和○○年度（○年間）

３　上記２の研究開発課題の研究分担者から外れても当該研究開発課題の実施に影響を及ぼさない理由

1. 外国側の研究機関に関しては、公共・民間の区分や当該機関の事業概要を簡潔に記述してください。 [↑](#footnote-ref-1)
2. https://www.soumu.go.jp/main\_sosiki/joho\_tsusin/scope/ [↑](#footnote-ref-2)
3. 他府省を含む他の競争的研究費その他の研究費の応募・受入状況（制度名、研究課題、実施期間、予算額、エフォート等）、現在の全ての所属機関・役職（兼業や、外国の人材プログラムの参加、雇用契約のない名誉教授等を含む。）、寄付金等や資金以外の施設・設備等の支援（無償で研究施設・設備・機器等の物品の提供や役務提供を受ける場合を含む。）等 [↑](#footnote-ref-3)